

かんのうひょうりゅう

官能漂流



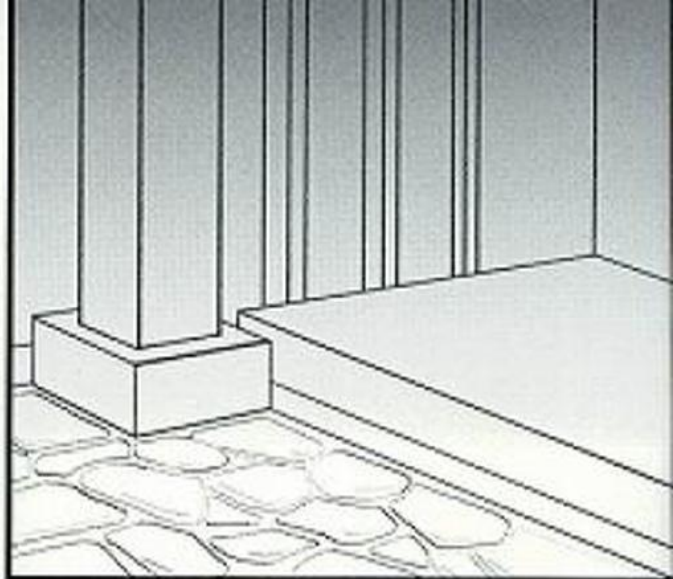
R18



今日は一段と
冷えるね...

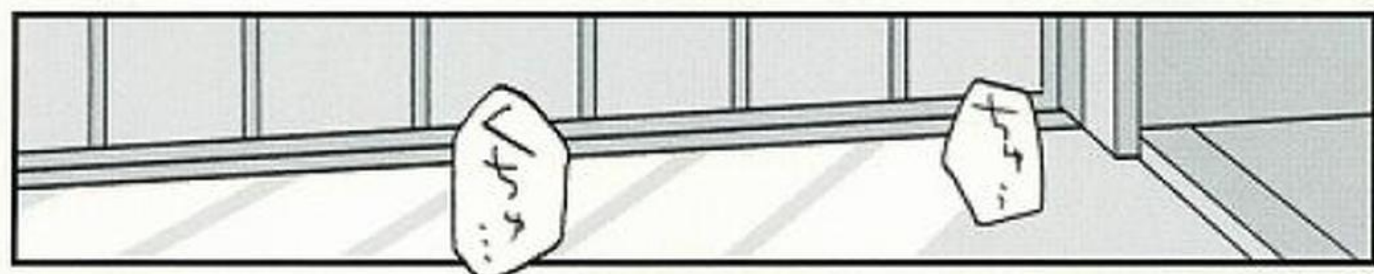


穏やかに笑い
握るその手は
いつもより冷たく感じた













そんな可愛い顔されたら
ただの魔力供給でも
勘違いしちゃうよ？



どうせやる事は
同じなんだからさ...

僕が気持ちよく
してあげるよ...

貴様...
下らん事を

ち...違う







この男と繋がり
悦ぶ私



ただ
落ちて行く



感覚がぼやけ
身体の境目がなくなり

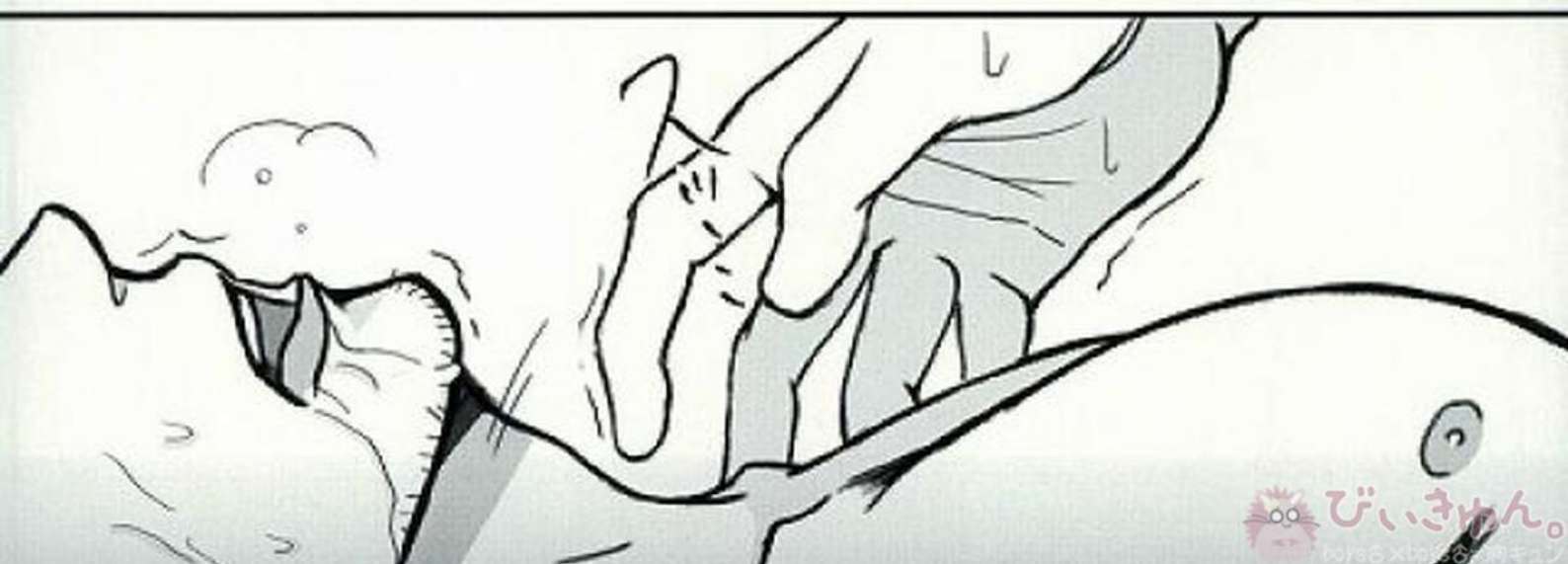
官能の中を
漂流しているかの
様だった

はあ

はあ









僕はね…

君の描いた喜劇の中で
死んでもいいと
思ったんだ…

でも…

まだ死ねないな…
君だけは心配だよ…







お前は嘘つきだ...



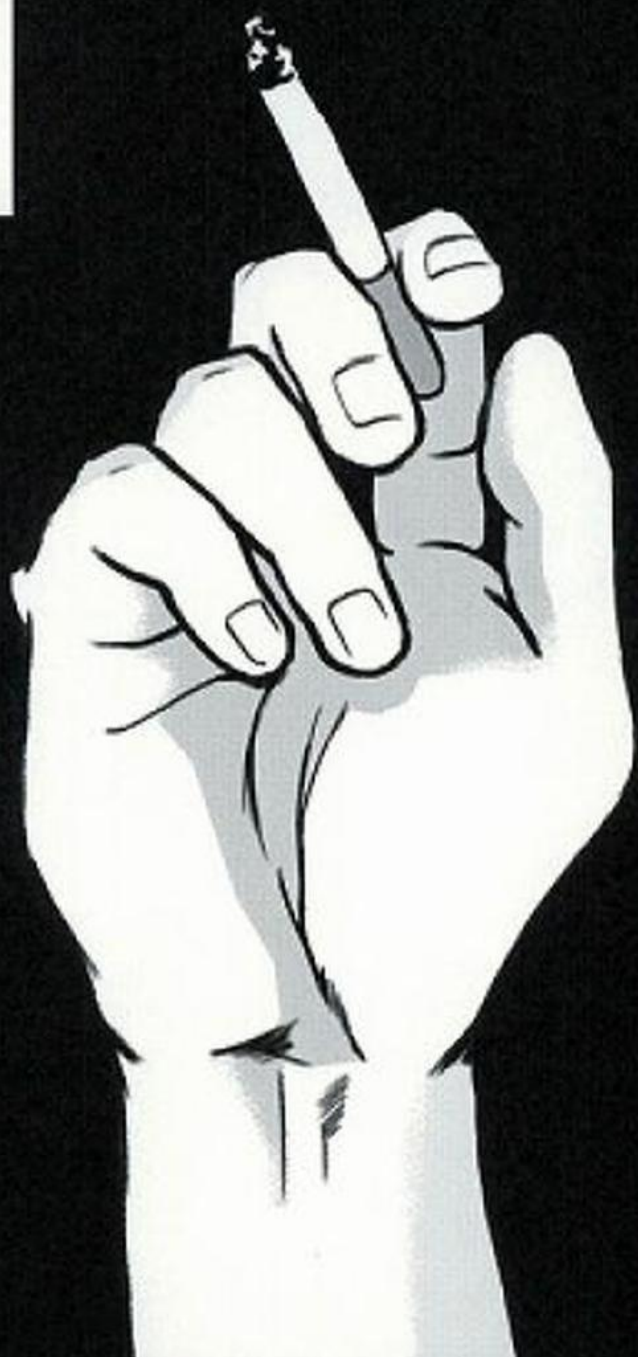
嘘なんか
言わないよ
本当に似合ってる



心臓の音が
やけに大きく聞こえた
私には無い音を響かせる

この時感じていた
体温はもうじき冷たくなる
そう遠い話では無い

自ら捨て去り傷けると知りながら
同時に愛してしまふ
この男の生きて下らん生き方を







心の底から

END

20141130/PISTACCHIO/kuri【pixivID】4889【Presswork】SUN GROUP □最後まで読んで頂きありがとうございました。





衛宮切嗣×言峰綺礼
20141130 PISTACCHIO KURI